わかやま新報	発行日	内容
	2022年11月30日	和歌山市と117が高齢者の見守り協定を締結した記事が掲載されました

（日刊）わかやま新報

2022年（令和４年）11月30日（水曜日）

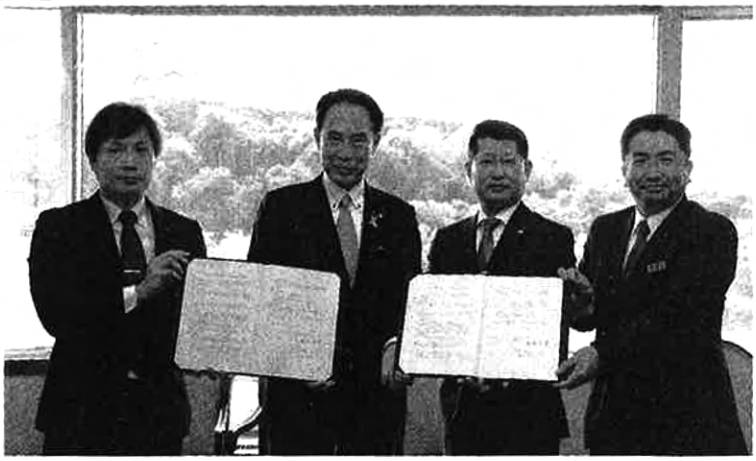
高齢者の見守り強化

和歌山市と117が協定

冠婚葬祭や介護事業を展開する㈱117（いいな、兵庫県姫路市）と和歌山市は、高齢者などの見守りで協力する協定を締結した。

一人暮らしの高齢者世帯が増加し、地域社会とのつながりの希薄化に伴い、社会的孤立や孤独死などが課題となっていることから、市は、住民や事業者などのさまざまなネットワークによる地域の見守り体制の強化を図っている。

市はこれまでに、日常的に高齢者宅を訪問する業務がある宅配や保険、電力、ガスなど14事業者と同様の協定を結んでおり、今回が15件目。訪問時に、郵便がたまっている、洗濯物が干したまま、昼間でも電気がついたまま、といった変化に気付いた場合、市に連絡することで必要な支援やサービスにつなげられるようにする。



協定書を手に（左から）近藤所長、尾花市長、田中取締役、西端所長

締結式は市役所市長室で行い、同社阪和営業部の田中佳敬取締役部長、近藤将和和歌山支所所長、西端正文紀ノ川支所所長が出席。両所長と尾花正啓市長が協定書に署名した。

尾花市長は「一人暮らしの高齢者が増え、戸別訪問的な見守りが大切になっている。協力していただき、ありがたく、非常に心強い」と感謝。田中取締役は「日々の企業活動が社会貢献につながる協定に共感している。少しでもお役に立てるようにしたい」と話した。